

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所いんくる（放課後等デイサービス）		公表日		R7 年 10月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・利用人数に対して、十分なスペースがある。	・完全な個室がない点、体調が急変した際に使用できる静養室がない点は改善した方がよいと思われる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・手厚いと思います。 ・安心できる人数配置となっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	・課題作業等のスペースを構造化し、集中できるようにしている。	・耐震との兼ね合いもあるが、壁が多く四角が多い部分は心配である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・目的ごとに部屋を設けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個別の支援や、カムダウンが必要な時のスペースを設けている。	・制限はしていないが、（完全な）個室に当たる場所がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%		・他の方は知らないが、自分自身は参画出来ていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・結果はともかくつなげるよう動いている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・日々の活動の中で、改善したい点について話し合い、上層部に相談しながら出来る限り実行している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		・自身はよくわからない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・研修や福祉にかかわる情報をスタッフに提供している。 ・研修の案内を受けて、参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・適宜HPの変更を行い、HP上にて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		・利用者ごとでその内容に差が生じている気がする（内容が薄かったり、濃かったり）
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・保護者面談や担当者会議には児童発達支援管理責任者だけでなく、その他職員も参加と情報の共有を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	・「標準化されたツール」は不明（よくわからない）。日々の行動観察は、意見交換を含めて良く行われている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・工夫はしているつもりだが、マンネリ化する危険ははらんでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・意識は出来ているが、時間の制約もあり難しい部分もある。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・常勤は午前中にその日の送迎、活動、連絡事項のミーティングをし、翌日の出勤後、最初に前日の振り返りを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	・共有フォルダを利用し、効率よく記録や個別支援計画に繋げている。 ・20、21の項目については同じタイミング（勤務開始時）で行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・記録については、後から見返して検証が出来るよう各自書くようにしている。	・「徹底」が出来ているかは不明。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%	・地域交流として、リサイクル活動やチラシ配り活動の実施。	・「地域交流」がやや弱い。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・自己決定力が強い子どもはOK。弱い子供へのアプローチは不十分。	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	33%	67%	・医療や学校、その他関係機関との情報共有は積極的に行いたい。 ・整えてはいないが、適宜行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・学校側が非協力的なところもあるので、改善してもらいたい。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・適宜行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%	・求められれば行える。求められたことが無いと思う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%	・デイサービス利用前に、支援センターの相談員より家族を含めての情報を聞く。利用後においても、支援の方法のアドバイスをもらう。 ・会社からの案内で外部の研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	17%	83%	・協議会主催の研修に、その都度参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時やLINE等で、適宜情報共有や相談等をさせていただいている。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・1年に1回面談を設け、説明、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	・そのような会はない。		

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	・GWや年末年始等で閉所している間、近所のお子さんに庭のトランポリンを開放している。	・そうした機会はない。 ・コロナ以前は行っていたが、今は出来ない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・マニュアルはあるが、訓練までは深く出来ない。	・職員やご家族への周知については不十分な面があるため、方法を検討していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・年2回以上の防災訓練実施。 ・避難訓練は定期的に実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%		・該当する児童がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	・「十分」とは言えないが、意識は出来ている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%		・共有できているか不明。 ・今まで以上に積極的にヒヤリハットを使用し、また情報共有する機会を設けたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・必ず研修をする機会を設けていただいている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%		・現在、該当する児童がいない。 ・身体拘束については定義があいまいで、統一した見解が事業所としてないと思う。 →今後、統一した方向性を導きたい。	